

全ての会員団体の等しい発展へ

長崎県建設産業団体連合会

会長 根 眞悟



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

長崎県建設連は、総合建設業、中小建設業、専門工事業、資材販売業、コンサルタント

業など、県内の建設業に関わる正会員24団体、賛助会員5団体の計29団体で構成し、会員団体皆様方のご支援・ご協力を賜りながら、産学官連携による建設業人材確保育成事業などをメインに様々な事業に取り組んでおります。

本県は、少子高齢化を背景に人口減少の一途をたどっておりますが、それでも建設業に携わる就業人口は約5万人、県内総生産の約8%を占めるたいへん重要な産業です。その建設業が今後も持続的に発展していくためには、元請も下請も建設業に関わる全ての皆様が等しく発展していかなければなりません。

また、昨年の改正担い手3法により、建設現場には働き方改革と生産性向上が急務となっており、いわゆる工期タッピング対策の強化や工期変更の協議円滑化も発注者・受注者双方にとってますます重要なテーマになってきます。

建設現場の4週8休制が広がってきていますが、その取り組みを真に業界全体に普及させるためには、建築工事の後工程を担う、電気設備、管工事、空調衛生工事などの専門工事業に負担がかけられないよう、全体工期の調整や必要な工期の延長について元請企

業がしっかりと認識し対応していかなければなりません。私も会長に就任して2年半、様々な改革に取り組んできました。昨年からは全ての会員団体の代表者に役員に就任していただき、定期的に役員相互の意見交換会を行うとともに、会員団体相互の結束を高めるために初めて実施した新年賀詞交歓会を今年も開催いたします。

建設連が建設業に関わる全ての会員団体が等しく発展していけるよう、これからも誠心誠意努力してまいります。本年が皆様方にとりまして輝かしい1年となりますよう祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

専門工事能力活かし「地域の守り手」に

一般社団法人長崎県ほ装協会

会長 中村 人久



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、年頭にあたり平穏な世の中を思い描いた2024年でしたが、あらゆる面で激動の年となりました。

身近では、選挙の結果により公共事業予算の方向性が懸念されることです。概して

災害復旧予算に対しては理解が示されるものの、一般的な公共事業予算に対しては厳しい目が向けられます。老朽化した公共施設の復旧や保全、次世代の発展に資する施設の建設なくして日本の未来はないと考えますので、国土強靱化実施中期計画に基づく予算化に大いに期待しております。

また、私たち舗装業界にとつて最も過酷であったのは、地域別統計を取り始めて（1946年）以来、平均気温が最も高い「暑い夏」でありました。各種工事現場の皆様には、公共・民間問わず施設の建設や維持保全という使命感をもって頑張って頂いたこと、心よりの敬意を表し感謝申し上げます。

さて、昨今はあらゆる業種で人材不足が生じており、これからの日本の産業を支えていくうえで喫緊の課題であります。そのような中で、当協会はアスファルト合材協会と連携し、合材プラントの毎月第2及び第4土・日曜日の連続閉所をはじめ、会員それぞれ働き方改革に向けた取り組みを鋭意進めているところです。また、高度の技術力と自社

施工体制を有する専門工事能力を活かした「地域の守り手」としての責務を永続的に果たしていくため、新しい技術であるICT/DX、中温化合材の活用や、従来の技術・ノウハウの更なる研鑽に努め、行政関係をはじめ関係皆様方のご指導を仰ぎながら次世代への継承に向け取り組んで参る所存です。

今年には「阪神・淡路大震災」から30年という節目の年となりますが、皆様にとり安寧であり多き年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

さらなる「豊かな漁場づくり」を目指して

一般社団法人長崎県漁場整備開発協会

会長 柴田 久直



謹んで新年のご挨拶申し上げます。

私ども長崎県漁場整備開発協会及び当協会が設立したNPO法人ナガサキシーパラネットは一体となって、長崎県をはじめ関係機関や関係団体等と連携しながら、本県の藻場回復を含む「豊かな漁場づくり」のため、各種事業や活動に鋭意取り組んでおります。

現在及び今後の水産業を鑑みますと、諸情勢に伴う燃油や資材などの価格高騰への対策、水産資源の回復対策、水温上昇等による漁場環境の変化への対応、とりわけその環境変化に対応した漁場整備や藻場回復への対策強化なども、一層重要性を増している課題と考えております。

こうした中、国では「漁港・漁場整備長期計画（5年間）」、本県では「特定漁港・漁場整備事業計画」（10年間）を策定され、計画に基づき各種事業を積極的に推進されていますが、当計画は本県の水産業振興と地域活性化につながる重要な政策と考えております。

私ども協会及びシーパラネットは、これら長期計画と上記の諸課題及び「浜の声」をしっかりと踏まえ、本県の「豊かな漁場づくり」と水産業振興のための取組を、産学官民一体となつて積極的に推進していく所存でありますので、関係各位のより一層のご指導・ご助言・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本県水産業の益々のご繁栄をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶にさせていただきます。

昨年には、設立50年を迎えることができ、本年は一般社団法人化してから丸5年を迎えますが、その後会員数も増え（正40↓48、賛助1↓17）、組織としても強化しているところです。この間の皆様方の

次世代担う新たな人材確保へ 関係団体と連携を密にし解決

長崎県管工事業協同組合連合会
理事長 岩永 堅之進



2025年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。旧年中は、当連合会にご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

げます。

昨年を振り返りますと、世界各地で紛争が起こり、日本経済においては、円安等が物価高をもたらし、エネルギーや資機材等の価格高騰が、依然として業界を取り巻く環境に大きな影響を与えました。

また、令和6年元旦に発生した能登半島地震において、多くの方々が被災された中、

同年9月には豪雨災害にも見舞われたことは、被災された

方々のことを思うと心が痛んで止みません。

近年、全国各地で発生している大規模な自然災害は、頻発・激甚化しており、昨年8月には「南海トラフ地震臨時情報」が発令され、日本各地に緊張が走りまわりました。業界にいたしましては、地域の「守り手」としての役割を果たすべく、地元密着の技術力のある管工事業者が、行政機関との連携を密にし、地域社会の安全・安心な暮らしを支え、人々に「命の水」を届けられるよう、日常より防災意識を高めていくことが重要であると認識しています。

長崎県におきましては、西九州新幹線開業に伴う新駅ビルの建設や長崎市の駅周辺再整備事業と市街地の大型再開発が進められ、外資系ホテルの進出、昨年10月には長崎スタジアムシティが華々しく開業し、県内外より多くの方々が足を運び、大きな賑わいをみせております。長崎県は、地理的な条件不利や少子・高齢化が進む中で、「100年に一度の変革期」を迎え、官民が一体となり人口減少の歯止めや雇用創出、交流人口の拡大に取り組んでいます。

さて、管工事業におきましては、若手人材不足、担い手不足、後継者問題は、喫緊の課題となっております。働き方改革により、IOT、ICT

長崎県におきましては、西九州新幹線開業に伴う新駅ビルの建設や長崎市の駅周辺再整備事業と市街地の大型再開発が進められ、外資系ホテルの進出、昨年10月には長崎スタジアムシティが華々しく開業し、県内外より多くの方々が足を運び、大きな賑わいをみせております。長崎県は、地理的な条件不利や少子・高齢化が進む中で、「100年に一度の変革期」を迎え、官民が一体となり人口減少の歯止めや雇用創出、交流人口の拡大に取り組んでいます。

当連合会といたしましては、関係諸団体と連携を密にし、課題解決と事業の推進に努めてまいります。

結びに、会員企業のますますのご発展と皆様方のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

チャレンジしてチャンスをつかむ

一般社団法人長崎県空調衛生設備業協会

会長 曾和 輝正



新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年の夏も一昨年の夏に続いて記録的な酷暑、不安定な国際状況に連動しているような気さえ致します。

昨年は、建設業においても「働き方改革」の本格的な運用が始まりました。いざ始まつてみると、運用についての

混乱の話はほとんど聞こえてきません。実は色んな問題があるにしても、それは各々の企業の問題であり内容も種々でそれぞれで解決していかないと、どちらにしても、進めていかなければ時代に乗りこえることは出来ません。

幸いにして、建設需要はまだまだ旺盛です。この間に企業としての体質をより強固なものに変えていかなければならないと思っています。

建設業の生産性の向上に寄与するものとして、ICTやロボット化、AIの活用等色

と出ていますが、我々中小企業が努力次第で結果が出やすいものとして、BIMへの取り組みがあると思っております。しかし、建設業種間の共通のプラットフォームの整備、ソフトウェア・ハードウェア、そのための研修費等、約800万円程度の費用が必要との試算もあり、また、それを習熟する為の時間も必要です。

しかし、建設業の生産性を向上させる事が喫緊の課題であるのは周知の通りです。まず、モデルの建設工事を選び、その工事に関わる設計事務所

始め、各業者でのワンチームでまずやってみる。工事の規模は関係ありません。色々な問題が出てくれば、それこそ生産性の向上に結びつくものだと言えらると思います。

この淘汰の時代はある意味チャンスだと言えます。協会会員の皆様始め、建設業に従事する全ての方々と知恵を絞って進んでいきたいと思っています。

結びに、本年が皆様にとりましても実り多い年になりますよう事を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

伝える責任

長崎県ジオファイバー協会
長崎県ニューレスプ協会

会長 松本 英睦



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、「長崎スタジアムシティ」が誕生し、長崎駅周辺では100年に一度と言われる大規模な再開発が行われ、様変わりした長崎は活気に満ちていると感じています。

この様な建設現場で働く私たち建設業界では、深刻な人手不足で、人材を確保しているのが、困難な状況が続いています。ものづくりの楽しさ以上に3Kと言われるこの建設業の厳しさは敬遠され、衰退してしまつたのではと危機感を覚えます。ある会社の文章に、「伝えるという」と題し、社員へのメッセージを目にしました。

いくつか抜粋して紹介させてもらおうと①伝えたいことが伝わったか②伝える側に反省点は無かったかどうか。

これは、現場で災害が発生し、二度と同じ災害を起さな

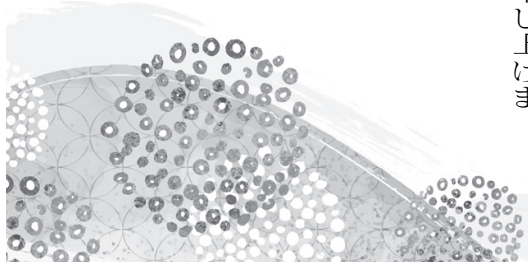
い！と注意喚起したものです。

「伝える責任」という言葉が重要となり、技術を後世に伝えていかなければならないと両方の面からの重要性についてのメッセージに胸が熱くなりました。

技術の継承は、マニュアル本ひとつで伝わるものではないと思います。経験を通じて得た知識を、私たちシビルエンジニアが次へと継承していかなければならない。近年DX化が進み新技術による変革とともに、技術の継承も進めていかなければなりません。

「建設」の魅力を、長崎の発展を目の当たりにした今、輝く長崎から、新しい「建設」を伝えられるよう努めて参ります。

結びに、皆様の更なる発展とご健勝を祈念申し上げます。



地域社会に貢献できる 防災対策の強化へ

長崎県電気工事業工業組合

理事長 小畑 和男



新年明けましておめでとうございます。
皆様方にはお揃いで健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は当組合の諸事業に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、正月早々の石川県能登半島地震災害につきとると思えます。その後も全国各地でこのような自然災害が多発し、年を追うごとに脅威が増しています。今後益々この傾向が続く事を考える時、電力インフラを支える業界として、防災意識対策の更なる強化に取り組んでいく必要性を強く感じています。

しているところです。

災害時における地域社会との連携による支援活動の充実を図る事はもとより、持続可能な社会に向け、お客様に安全で安心な電気をお届けする為にも、施工や保安に万全を期していかなければと考えています。

そのためにも今年もより一層、行政機関を始め関係諸団体との連携を更に強化し情報交換等を行い、県下6支部、319社の組織力を最大限に活かしていきたいと考えています。

そして、引き続き女性の活躍推進と後継者の育成や若手入職者の確保・各種講習会等の実施と共に、青年部に対する活動支援を強化していきま

すので、皆様方の引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
本年が皆様にとりまして、実り多い年となります事を心から祈念申し上げて年頭のご挨拶と致します。

解体はものづくりのはじまり

一般社団法人長崎県解体工事業協会

会長理事 池田 正喜



新年あけましておめでとうございます。
謹んでお慶びを申し上げます。

さて、人口減少対策が大きな課題となる中、新たな街づくり、便利で住みやすい街が求められています。われわれ解体業界としては、高度成長期に建設された多くの老朽建築物・施設を適切に解体すること、新たなものづくり・街づくりのきっかけ、新たな

取り組みの「はじまり」に携わっていきたくと考えています。

この中では、社会問題化している空き家についても、建築物を全壊するのではなく、老朽化・陳腐化した部分を有効活用して快適に暮らせる空間を再生するモデルや、斜面地・高台を克服し、利便性の高い暮らしを実現するなど、若者にも魅力のある地域づくりも目指していきます。このような取り組みには、大工や板金、左官など、さまざまな専門工事業種との連携が不可欠です。これまで以上に連携を強化し、新たな仕事づく

りに繋げていきます。

当然、これらの取り組みを持続的・安定的に進めるには、人材の確保育成や、安全面・環境面への配慮が重要となります。そのため、就労環境の整備・向上はもちろん、若い人が、働いた成果をなるべく早く受け取れるコンパクトなサイクルづくりなど、小さい取り組みながらも長崎ならではの仕組みづくりを工夫できないか考えています。

安全・環境面の対策は、協会として、石綿関係法令の改正に関連した大気汚染防止法改正及び労働安全衛生法石綿則の改正に伴う労働安全に関

する講習会などの開催を継続していきます。併せて、協会員間の情報交換・意見交換をこれまで以上に重視し、会の結束を高めます。この一環として初めて離島（五島）で理事会を開催したところです。

今後も、同様の取り組みを進め一層の連携・結束を進めていく所存ですので、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年になることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新春御挨拶

協同組合長崎県鉄構工業会

理事長 岩永 洋尚



活動にご高配賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界情勢では、東欧・中東等、各地での紛争は収まらず、また、東アジアにおいても混乱の度合いはますます深まっております。国内経済面では、長引く円安傾向に伴う諸物価高騰、働き方改革

への対応、2024年問題、SDGs等、社会構造が目まぐるしく変化した年でございました。

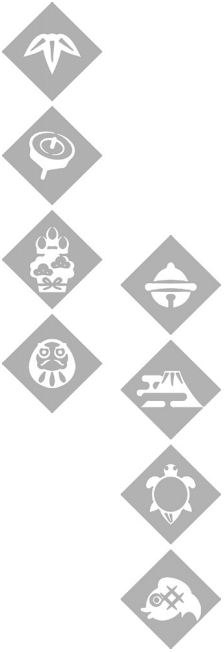
当業界では、2023年度の推定鉄骨需要量がリーマン・ショック直後の2009年度と同水準となり、2024年度も引き続き、人材不足や建設コストの高騰、鉄骨製作図面問題、国内の景気動向などの現状を踏まえて、先行きの不透明感を払拭することができない状況が続くものと見込まれております。

人材不足については、特定技能制度の対象分類に「鉄骨製造業」が追加されたことに

より、外国人材の起用が将来的に人材不足の解消に繋がるものと期待されております。

鉄骨製作図面問題については、特に建設業における働き方改革や業界の人材・能力不足を背景に当問題の深刻化が懸念されており、その是正と解消に向けて、当会上部団体である全国鐵構工業協会が要望書を作成し、国土交通省など行政をはじめ、建設業関連団体へ要望活動を行ないました。当会としても、長崎県内の関係各所に当問題の解消に向けて活動してまいりま

す。当会も人が集まる魅力的な



仕事確保と若年技能者育成に全力 魅力ある建設産業の構築目指す

一般社団法人 長崎県中小建設業協会

会長 北村 政和



2025年、明けましてお
めでとございます。

皆様におかれましては、新
春を健やかにお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

昨年は、長期化するロシア
のウクライナ侵攻や中東での
紛争拡大、米国大統領選挙で

のトランプ前大統領の返り咲
きなど、国際情勢の不安感が
高まる中、国内でも、円安で
輸入に頼っているエネルギー
や食料品、生活関連用品、資
材価格等の高騰が続く、国民
生活や経済活動に先行き不透
明感を来しております。

加えて、能登半島大地震や
異常気象による豪雨災害な

ど、自然災害は激甚化、頻発
化する傾向にあり、多くの貴
重な人命と財産が失われてお
ります。私達、建設業に携わ
る者は、こうした厳しい状況
に怯むことなく、地域の安全
安心を確保するため、社会資
本の整備を着実に推進してい
るにあたって決意を新たにし
ております。

とは言え、建設業界におい
ては、工事発注量の地域間格
差や大手企業と中小企業の企
業間格差の顕在化、建設技能
者の高齢化や担い手不足な
ど、依然として厳しい経営環
境におかれています。特に、
建設技能者は団塊世代の大量
退職が顕在化する一方、若年
入職者は減少し定着率も低い

傾向が続いており、このまま
では技術や技能の継承ができ
なくなるのが危惧されてい
ます。

私達が地域の守り手として
持続可能な建設業を実現する
ためには、担い手不足の課題
解決が不可欠であり、昨年6
月に成立した「第3次・担い
手3法」に掲げる「労働者の
処遇改善」、「労務費へのシ
ワ寄せの防止」、そして著し
く低い労務費や短い工期の禁
止などによる「働き方改革と
生産性向上」に業界を挙げて
取り組むとともに、「時間外労
働の上限規制適用への対応」、
「適切な賃金水準の確保」、
「週休2日制の導入」、「I
CT・DXへの取り組み」など、
若者の就業に繋げられる魅力

ある労働条件の整備を確実に
進める必要があります。

私達、中小建設業協会は、
地域のインフラ整備、住宅建
設・リフォーム、災害対応な
ど地域を支える役割を担って
います。このため、県や市町
に対して引き続き住宅リフォ
ーム事業や小規模事業予算の
拡充をお願いするなど、今後
とも中小建設業者の仕事確保
と若年技能者の育成に積極的
に取り組む、関係機関・団体
のご支援を賜りながら、魅力
ある建設産業の構築に努めて
まいります。

結びに、本年が皆様方にと
りまして、輝かしい最良の年
となりますようご祈念申し上
げ、新年のご挨拶といたしま
す。

持続可能な社会に向けて

一般社団法人 日本造園建設業協会 長崎県支部

支部長 松田 英明



皆様方におかれましては令
和7年のお正月を穏やかにお
過ごしのこととお慶び申し上
げます。

昨年は急激な円安なども相
まって建設業界においても建
設資材の価格高騰、運搬費の
上昇など様々な課題に直面し
た1年でありました。本県に
おいては100年に一度のま

ちづくりにより長崎駅周辺の
再開発、昨年度完成した長崎
スタジアムシティは新たな長
崎のランドマークとなり観光
地長崎の起爆剤になることを
期待しているところでありま
す。

本年、（一社）日本造園建
設業協会が取り組むべき課題
は多岐にわたります。激甚化
・頻発化する大規模自然災害
に備えた防災・減災に資する
取り組み、担い手の確保・育
成の推進を図るための建設キ
ャリアアップシステムへの対
応、安全衛生対策推進のため
の墜落防止器具等の普及促

進、昨年度から建設業界へも
適用された時間外労働の上限
規制などにも適切に対応して
いかなければなりません。

また、資格制度の更なる充
実のため2023年度創設さ
れた「緑地樹木剪定士」資格
の運用の他、SDGs・カー
ボンニュートラル、グリーン
インフラの推進といった社会
的課題に加え、今後、本格的
に影響が出てくることが想定

される原価の上昇対策にも取
り組んでいく必要があります。
このような多くの課題への
対応は簡単になじめるもので

はありません。協会としては
実際に取り組みが始まり、わ
ずかながらも前進している課
題がある一方、また取り組み
が遅れている課題もありま
す。造園業の社会的使命を見
据えながら会員の皆様のお力
添えをいただき共に一歩ずつ
前進してまいれる所存ですの
で、引き続き一層のご支援、
ご協力をお願い致します。

この1年が皆様にとって、
また造園建設業会にとって明
るい将来への展望を開く良き
年になりますよう心から祈念
申し上げ新年のあいさつをさ
せていただきます。

新年あけましておめでとう
ございます。

「塗装で明るい町づくり」 日塗装長崎県支部60周年を迎えて

一般社団法人 日本塗装工業会長崎県支部

支部長 出端隆治



ます。

新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。平素より関係各位の皆様方には、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私共、日本塗装工業会長崎県支部は昨年設立60周年を迎えました。まずは、日頃よりご愛顧いただいております、お客様、塗料販売店様、塗料メーカー様のお支えでこれまで歴史を積み重ねることが出来ました。改めて深く感謝申し上げます。また、この間、景気の波や自然災害等乗り越え今日まで当支部

を牽引してこられました先輩諸兄の皆様方に改めて敬意を表します。ここ長崎市は18世紀半ばに近代塗装（ペイント塗装）が伝来した街として、ランタンフェスティバルなどが行われる長崎市湊公園に近代塗装伝来の碑を建立したのも我々の先輩であります。諸説ありますが、近代塗装が始まった発祥の地とし、これからも先輩諸兄の意思を受け継ぎ塗装で明るい町づくりに貢献してまいりたいと思っております。

現在、「我が国内唯一、塗装工事業者の全国組織としてこれまでの経験と実績を活用し、働き方改革の推進、建設キャリアアップシステムの普及」を推進しております。専門工事業者として

の強みをもつと社会に発信していきたいと考えております。

若者に魅力ある業界・団体へ

長崎県型枠工事業協同組合

理事長 永川敏



謹賀新年 明けましておめでとございます。
新年を迎え心よりお慶び申し上げます。
関係各位の皆様には、平素より当組合に対し、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

建設業の担い手不足は近年ますます感じるところですが、年間休日の増加やノー残業デーなど積極的に取り組む、より若者に魅力ある業界・団体となつていけるよう尽力しているところです。
また、機械化やDX化が進む中であっても、失われてはならない技術・技能をしっかりと若い世代に受け継ぎ、将来にわたつて大きな役割を担うための人材確保が最重要であり、建設業における賃金水準の引き上げ、週休二日制など働き方改革の推進のための

適正な請負代金、適正な工期、適正な労務費、CCUS普及促進に向けた取り組み等を行っています。

今後高度技能取得者を育成し、業界等で評価される仕組みづくりを構築していくことで、型枠に従事する仲間たちが安全・安心で生活できるよう、組合として今後も型枠技能士1級・2級・3級等の資格取得のための講習会等を引き続き開催し、登録基幹技能者更新講習会の開催を長崎で行い、業界の発展のため取り組んでまいります。関係各

位の皆様のみますのご理解ご支援をお願い致します。

本年が皆様にとって幸多い年になりますことを、ご祈願申し上げます。ご挨拶をさせていただきます。

